



人類に
奉仕する
ロータリー

Weekly Report No.2604

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ



地区ガバナー：上山 昭治氏

石垣ロータリークラブ

RI会長：ジョン・F・ジャーム

「出会いを大切に」

ロータリーレート \$1=¥102

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1974～1975 年度



十四代会長 奥平 広一

副会長	下地 恵光	幹事	伊良部 行一
副幹事	糸瀬 斉昭	会計	比嘉 憲政
会場監督	登野城 用勝	クラブ奉仕	下地 恵光

- 遠隔地クラブ友愛委員会の協力のもとに青少年育成の一環として、やえやま海洋少年団へカッターボート2隻を寄贈。(贈呈式：石垣港ハーリー祭会場 1975.6.13)
- 全会員出動してのキビ植への労力奉仕(1974.10.30)

《社会情勢》

- 1975年・南琉、沖製缶が事業閉鎖
- ・石垣市にゴロゴロ模合
 - ・新城の上地小学校過疎のため、廃校
 - ・NHK TV が同時放送となる
 - ・人間国宝である鎌倉芳太郎氏の来島



1974～75 年度 RI会長
ウィリアム R.ロビンズ
(米国・フォート・ローダーデルRC)

【RIテーマ】

Renew the Spirit of Rotary...

ロータリーの精神を振るい起こせ



上原 晃子氏(1947.10.23)
大底 英一郎氏(1961.10.25)

会 長	： 前木 繁孝	副 会 長	： 大浜 一郎	幹 事	： 前原 博一
副 幹 事	： 宮城 早人	SAA・出席	： 遠藤 正夫	情報・会報	： 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroty@ninus.ocn.ne.jp

- 司会進行：大城 文博
- ロータリーソング：君が代・四つのテスト
- ソングリーダー：宮城 早人
- ゲスト：石垣 泰生氏(石垣空港ターミナル(株) 代表取締役専務)
- ビジター：豊田 正司氏(東京御苑RC)
 - 〃 キヨ子氏(令夫人)
 - 戴 龍泉氏(東京御苑 RC)
 - 孟 文華氏(東京御苑 RC)
 - 戴 孟瑄氏(東京御苑 RA)
 - 任 菲氏(東京御苑 RA)

■メークアップ：小底厚子・宮良 薫・宮良榮子

■出席報告

会員総数 41名 出席義務会員 40名
 出席数 25名 欠席数 15名
 出席率 62.50%(10月通算出席率 62.50%)

 **本日のこここ**

	小 計	累 計
BOX	¥3,000	¥70,000
コイン	¥4,310	¥57,438
合 計		¥127,438

- 本日卓話を頂いた石垣空港ターミナル(株)専務の石垣泰生様、ためになるお話をありがとうございました。明日バースデーを迎える大瀨 達也様おめでとうございます!! (前木 繁孝)
- 石垣空港ターミナル(株)石垣専務、本日はありがとうございました。(前原 博一)
- 来週の台湾訪問、たくさんのご参加ありがとうございました。(大浜 勇人)

幹事報告

- ・クラブ要覧が出来上がりましたので、ご確認下さい。
- ・12/14の例会はガバナー公式訪問になりますので、日程を調整して頂き、ご参加をよろしくお願い致します。

ビジター：豊田 正司氏

皆さんこんにちは。以前は東京あすか RC でチャーターメンバーで 30 年間やっておりました。ちょうど 1 年半前に東京御苑 RC を創りまして、チャーターメンバーという事で、常にロータリーに燃えております。今日は突然おじゃまして申し訳ございませんでした。これから 3 時の飛行機で帰りますので、例会終わりましたらお先に失礼させていただきます。毎週木曜日新宿西口のワシントンホテルで夜 7 時から 8 時まで例会をやっておりますので、ぜひお越しください。今日は本当にありがとうございました。

会長挨拶：前木 繁孝

本日 11:30 から理事会を行いました。規定審議会、RI 審議会で決定された重要な事項がありますが、その中の 3 点を理事会で話し合いました。後日詳細な内容は幹事からお知らせしていきたいと思っております。そして総会の場で決議したいと思っております。大まかな内容については触れませんが、審議会とは何なのかという事をお知らせ致します。「国際ロータリーの立法機関で 3 年毎に国際大会とは別に理事会の定める日時場所で開かれます。各地から地区内クラブを代表して、代表議員が選ばれて審議にあたりますが、この議員は原則として国際ロータリーの役員に限られ、審議会の 2 年前に開催される年次地区大会において選ばれます。規定審議会の決定はそのまま国際ロータリーの決定となりますが、所定の手続きを経て提出された定数のクラブからの異議申し立てのない場合は直後の 7 月から発行します。」という世界組織の規定審議会で決定された事項を、次回以降幹事からお知らせしていきますので、よろしくお願い致します。

今日石垣 RC の要覧が出来上がって、皆様にお配りされていると思います。それからロータリーの友が届いていますが、月初めに配られています。たぶん皆様持ち帰って読んでいます方少ないかなと思っておりますが、私も実は読もうと思ってひと月が過ぎてしまう事もあります。それでロータリーの友を読み合わせする、「読み合わせ会」を例会終了後に希望者だけでやれたらなと思っております。わずかな時間ですが、次回以降実行できればと思っています。皆様のご参加を呼びかけます。

先週と先々週が海に関してのお話をいただきました。本日は空に関するお話をいただきたいと思います。石垣空港ターミナル(株)代表取締役専務石垣泰生様をお招きしております。先般、我喜屋石垣市商工会長が国際線のターミナル拡張について、触れましたが、今日はその石垣空港がアジアのハブ空港となれるか、未来の国際空港石垣空港を語って頂けるものだと思っております。よろしくお願い致します。

ゲスト卓話：石垣 泰生氏

**石垣空港ターミナル(株)代表取締役専務
 石垣空港国際線ターミナル施設増改築事業の概要
 ～南の交流拠点をめざして～**


 まず初めに国際線ターミナル施設増改築に至った経緯ですが、空港ターミナルは平成 25 年 3 月に開港し、約 3 年半になります。空港開港初年度は

乗降客数 180 万人を想定した計画で動いておりましたが、開港の初年度から 200 万人を超えております。2 年目が 230 万人、3 年目（平成 27 年度）少し落ちまして 228 万人。それは空港を閉鎖するような台風が 5 日間、5 個接近したのが主な理由です。開港初年度はメディア、テレビ、ラジオ、週刊誌等にいろんな形で石垣空港を取り上げて頂きました。その反動が心配でしたが、2 年目、3 年目とほぼ 220 万から 230 万というお客様に利用して頂いております。

現在の石垣空港国際線ターミナルはかなり手狭です。開港した当初から各方面から拡張すべしという声がたくさんありました。海外の航空会社、中華航空、香港エクスプレス、様々な関係者が見に来られましたが、狭いという事で、航空会社、観光関係団体、あるいは地元の経済団体等から、どうか改善してほしいという要請がありました。

開港初日、韓国から大韓航空のチャーター便が運航されまして、定員 160 名のところ満杯の状態です。元々国際線は当時就航していた 100 席程度の旅客機を想定していたので、たちまち溢れる状況になりました。同じ開港年度 25 年 6 月 2 日、当時の仲井真知事が来島され、国際線の状況を見て、すぐに拡張しなさいと指示が出ました。9 月の補正予算で対応すべきだということで、財政当局にも指示がいったようで、要求の締め切りが 7 月と迫っておりましたので、県、市、我々の会社が集まって課題解消に向けて、議論するために「新石垣空港国際線旅客施設増改築検討会議」を直ちに設置しました。7 月中に 3 回の会合を持ち、その中で施設規模、機能拡充の基本的方向性、事業費の負担のあり方等等を検討しました。

現国際線施設の状況としまして、対象機材 ERJ190（約 100 席）、または B737（約 130 席）を想定し、ピーク時のお客様約 100 名程度に対応。ピーク時でも片側 1 便、来る便と出る便が重なったとしても、同じ方向には 2 便重ならないような施設。搭乗橋、テナントの設置はなしという事が基本的な条件で、延べ床面積 1,335 m²の国際線を造っております。開港した当時（平成 25 年度）の運航実績は、華信航空が ERJ190、復興航空が A320 で運航しております。両社とも台北・石垣間のチャーター便での就航状態でした。年間の乗降客数が 14,784 人でした。現在平成 28 年 4 月から 8 月までの 5 か月間の実績は中華航空が台北・石垣間を週 2 往復、香港エクスプレスが夏場香港・石垣間週 3 便、6・7・8・9 月運航しています。10 月以降はたぶん 2 便になろうかと思っております。この

8 月までの乗降客数が 2 万人を超えています。25 年度に比べて、わずか 5 ヶ月で 2 万人を超える状況になっています。

国際線施設増改築の概要としまして、施設設計の条件、整備方針を検討しました。設計条件として、対象機材を中型機、B767 クラス、A330 クラスで定席が 270 席の機材、または小型機 B737（約 150 席）であれば 2 機に対応する。ピーク時の便数は片側 1 便、または小型機であれば間に、輻輳時間 60 分おけば 2 便が利用できるような容積にするという事を決めております。ピーク時の旅客数が 230 人に対応します。整備方針として中型機あるいは小型機の輻輳に必要な CIQ 施設、ロビー等を確保する。旅客サービスを考慮した、現施設にはないテナントをいくつか設けられるようなスペースを確保する。他に国内線との円滑な動線確保という事で、現在は国内線と国際線が離れておりますが、国際線の旅客も国内線のテナント、あるいは飲食サービス施設がスムーズに利用できるように、国内線と国際線を広いロビーで繋ぐという事を考えています。それから定期便が就航できるように、入管、税関、検疫（CIQ）各機関のスペースを設けると共に航空会社、外国の会社が入居を希望しても対応できるようなスペースを造る。さらに現在国際線側、8 番スポットを兼用で PBB（搭乗橋）が使えるようになってはいますが、それだけでは不足だろうという事で、さらに北側にエプロンを整備して、エプロンの整備は空港の整備になりますので、県にエプロンの拡張を要請し、9 番のスポットを設けてもらって、搭乗橋を付けられるようにしましょう、と言う事でございます。最終的には沖縄県の掲げる観光施策の中で言われている目標数値が達成可能なぐらいの機能と容量を確保するという事が議論されて、基本設計に移っております。

増改築後は、現在の延べ床面積 1,335 m²、それに増築面積 3,126 m²、合わせて 4,461 m²の規模になります。今の広さの 3 倍以上のスペースが確保できます。1 階はチェックインカウンター、航空会社事務室、ロビー、概ね 1 階は到着系のスペースとして使います。検疫検査場、入国審査場、税関検査場、手荷物受取所、動物検疫事務所等々が配置されます。2 階は基本的には出発系の施設になります。保安検査場、出国審査場、搭乗待合室等々が並ぶことになります。搭乗待合室についても、中型機 230 名が満杯で来てもストレスのないような造りをしております。今の 3 倍以上の施設が平成 30 年度の下期には完成し、30 年度末には

共用が開始されます。国際線として使いながら拡張していきますので、着手後 24 ヶ月を見えています。ハード面では明らかにストレスのない、気持ちの良い空港が出来るはずなんです。ただ国際線施設として安定的で持続的な発展を目指す上で重要な課題として、これから施設を運用するにあたって、税関指定空港として CIQ 各機関の認定を受ける必要があります。CIQ 各機関の官署指定というのは何が必要かという、国際線の定期便の通年就航が必要であります。現在残念ながら通年の就航が可能ではありません。冬場の商品が作れない事で、冬場は国際線が止まっています。もう 1 つ重要な課題として、新規路線の就航や新しい海外の航空会社の誘致を獲得して行かなければならないと思います。これには我々だけでなく国、県、市あるいは経済団体、地域振興に貢献している団体が一体となって、海外からのお客さん呼び込む活動が必要になってくるかと思ひます。

さらに国際化を目指し海外からのお客さんを受入れるためには、ハードだけでなくソフトの部分の充実、まずは海外からのお客さんをおもてなしするという意味で、市民の皆さんのマインドもおもてなしが出来るように、盛り上げていく事も大変必要になるかと思ひます。幸いなことに上海、北京、ベトナム、シンガポール等々アジアの近場の各国が石垣に大変興味を持っているようで、いろんな問い合わせがあります。そこからまず誘客、プロモーションをやっていく、アジアだけでなく世界に向けた南の交流拠点として、これから地域を盛り上げていきたいと思っております。

国際的観光リゾート地の形成～南の交流拠点を目指して～と言う事で、沖縄県の様々長期計画、ビジョンで八重山圏域がどう位置づけをされているかという、沖縄 21 世紀ビジョンでは、八重山圏域展開の基本方向という事で、国際的な観光リゾート地としての基盤強化を図るため、海外からの大型旅客船に対応した岸壁等の整備を促進、新石垣空港については国際線の受け入れ機能を強化するほか、国内外への路線拡充に向けた取り組みを図るとなっております。観光振興推進ロードマップでも石垣空港については、国際線定期路線の確保や新規海外航空会社の参入を促進するため、中型機の受け入れに対応した国際線旅客施設等を整備に取り組むという事で、平成 33 年度のクルーズによる海外からの八重山圏域への入域観光客数を 144,000 人と言う事を位置付けられております。新しい国際空港が出来ると 144,000 人どころではなくて、その倍、3 倍受け入れるキャパシティ

が整備できます。ただそれをお迎えするのは我々石垣の、八重山圏域の市民、我々みんなの力で実現していく目標になるかと思ひます。様々なレベルでの交流の推進が南の国際交流拠点、八重山地域を形成することに役だっているかと思ひます。

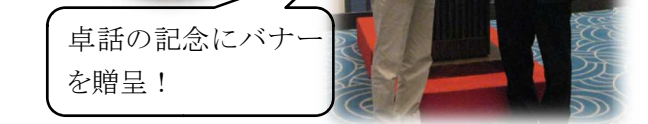
～例会風景～



東京御苑 RC・RA の皆様 6 名がご来会下さいました。



長崎中央 RC よりバナーが届きました。



卓話の記念にバナーを贈呈！